

2023年3月22日

就実大学大学院・就実大学・就実短期大学  
2023年度前期授業の受講方法について

教務課

新型コロナウイルス感染症はまだ終息したとは言えませんが、社会状況がかなり変化してきました。本学でもコロナ禍で指針としてきた活動制限レベルの適用は行わず、2023年度は多くの学内環境が通常にもどり始めることとなります。授業についても、陽性者の欠席は季節性インフルエンザに準じた取り扱いとなり、これまで特別措置として実施してきたコロナに関する配慮対応も終了となります。ただ、今後の感染状況によっては対応を再検討する可能性もありますので、メールやホームページによる大学からの告知には引き続き注意してください。

なお、以下に示す「感染対策の5つの基本」については感染症法上の5類移行後も引き続き励行してください。

【厚生労働省が推奨する感染対策の5つの基本】

- ・体調不安や症状がある場合は自宅療養や受診
- ・その場に応じたマスク着用や咳エチケットの実施
- ・3密(密閉・密集・密接)の回避と換気
- ・手洗い
- ・適度な運動と食事

オリエンテーション期間についても基本的に行事は対面で実施します。WebClassに掲載される「オリエンテーション期間行事表」に従って行動してください。一部オンライン対応するものについては各学科から告知されます。

この文書は、学生の皆さんに向けて、前期授業の開講形態について具体的なご説明を行うものです。

「対面授業科目」と「オンデマンド型オンライン科目(A科目)」について

授業は次のように「対面授業科目」と「オンデマンド型オンライン科目(A科目)」に分けて実施します。

○対面授業科目：原則として対面で開講する科目

全員に登校していただき、通常に対面授業を行います。ただし、一部の科目では対面とオンデマンドを併用し、授業回によって実施形態が異なる場合がありますので、シラバスを確認し、授業担当者の指示に従うようにしてください。

なお、引き続き感染対策には留意していただき、学生同士の間隔のとれない屋内授業では当面マスク着用を推奨することとします。授業内容等により着用が望ましくない場合は、授業担当者から着脱の指示がある場合もありますが、基本的には個人の判断に委ねることとします。

○オンデマンド型オンライン科目(A科目)：原則として全授業回をオンデマンド型オンライン授業で開講する科目

全科目数のうち、数%が A 科目となります。後日、A 科目のリストを本学の e ラーニングシステム「WebClass」及びホームページに掲載予定です（Web シラバスは 4 月 1 日から閲覧可能）。

A 科目はビデオ視聴による受講ですので、本来の授業時間に視聴する必要はありません。本来の授業時間から原則 1 週間以内の都合の良い時間に視聴して、指示された課題を提出するなどしてください（視聴期間等について科目ごとに指示がある場合があります）。

A 科目は、原則として WebClass の当該科目のコース内で講義動画を視聴したうえで期限までに出席確認用の課題に回答する形で出席がつきます。科目によって出席の取り方に違いがある場合がありますので、WebClass や講義動画の中での指示にしたがってください。

#### 教室について

なるべく密集・密接とならない教室を配当するため、履修者数が確定した後に教室を調整・決定します。4 月 10 日の授業開始日直前に、WebClass に教室配当表を掲示予定ですので、登校前に各自教室を確認してください。不明な場合は R 館 1 階の総合受付でおたずねください。

コロナ禍では、シルバーのシールを貼ってある席に着席するよう指示されていましたが、今後もできるだけ間隔をあけるよう心がけてください。

#### コロナ禍での特別措置について

コロナ禍で運用してきた以下配慮対応は行いません。

- ・新型コロナウイルス感染への懸念による登校差し控え申し立て（同時配信）
- ・風邪症状による欠席の公欠扱い
- ・ワクチン接種当日ならびに副反応の体調不良による欠席の公欠扱い
- ・自らが感染源になることを恐れ PCR 検査を受け結果が出るまでの公欠など

風邪症状、ワクチン接種、PCR 検査等で欠席する場合は、通常の「欠席届」を授業担当者に提出いただけますが、その際に理由を伝えることで授業資料の配布等の配慮を受けられる場合があります。

新型コロナウイルスに感染した場合の公欠については、今後は季節性インフルエンザに準じた取り扱いとなり、濃厚接触者への対応も国の方針に沿うこととなります（感染した場合は罹患報告書や受診時の領収書等が必要となります）。詳細は本学ホームページを参照するようにしてください。

以上